

### 学校法人格付け

2005年9月13日

お問い合わせ先：

吉村 真木子、東京 電話 03-4550-8368  
 田辺敏子(メディア・コンタクト)、東京 電話 03-4550-8411  
 プレスルーム(電子メールによる配信、送信トラブル)  
 電話 03-4550-8411 Fax 03-4550-8740  
 電子メール [tokyo\\_pressroom@standardandpoors.com](mailto:tokyo_pressroom@standardandpoors.com)  
 日本語ウェブサイト <http://www.standardandpoors.co.jp>

### S&P、青山学院の格付けを「AA -」に据え置き

#### 据え置き

AA - 長期発行体格付け

アウトルック：安定的

(2005年9月13日、東京 = S&P)スタンダード&プアーズは本日、学校法人青山学院の格付けを上記の通り据え置いた。1)日本有数のキリスト教系私学として、充実した教育内容と高い研究能力、好立地に支えられ、質の高い学生を安定的に確保している、2)教育・研究プログラムの拡充への取り組みが、キャンパス再構築の進展とともに、学生獲得の競争力の向上に寄与するとみられる、3)設備投資は既決定分については手元資金で賄われる予定であり、健全な財務体質が維持されるとみられる ことに基づく。アウトルックは「安定的」である。

少子化が進むなか、日本の大学は学生確保に向けてさまざまな施策を講じている。青山学院でも新しい教養教育システムの導入、専門職大学院の創設・拡充などに取り組み、これらは教育産業界で高い評価を得ている。さらに、教育プロジェクトの文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」への採択やe-ラーニングプロジェクトなどを通じた国からの競争的資金の獲得、他大医学部との医工連携などにより、教育・研究面での質向上と多様化が図られている。同校を第一志望とする学生数の割合は一部の学校には及ばないが、充実した教育・研究プログラムに対する学生からの強い需要は大学部門、一貫校とともに維持され、今後も学生の質を維持しながら安定的に学生を確保できると見込まれる。校舎の建て替えや専門職大学院の拡充をはじめとする研究・教育体制の再構築が進んでおり、社会人を含む幅広い学生層を取り込むことも可能とみられるため、長期的に収益基盤は強化されよう。

財務面では、収入の75%強を学生納付金に依存しているが、学生数は安定的に推移すると見込まれ、将来的に収入が大きく変動するリスクは小さい。今後は経費を一層抑制する方針を打ち出していることから、収支やキャッシュフローは引き続き安定的に推移し、健全な財務体質が維持されよう。青山キャンパス再開に伴う大規模な設備投資が進行しているが、キャッシュフローが安定しているうえ、引当預金も厚く、投資期間が長期に分散されるため、既決定分を前提とする限り、財務負担が過大となる可能性は低いとスタンダード&プアーズはみている。

スタンダード&プアーズは、マグロウヒル・カンパニーズの一部門であり、完全に分離・独立した経営体制に基づき、世界の金融市場に対して、信用リスク分析および格付けサービス、株価指数、株式リサーチやデータといった金融情報を提供している。当社の提供する数多くの商品には、世界の主要株価指標であるS&P Global1200、米国の主要株価指数であるS&P500、日本および海外の投資家の投資指標となるS&PJapan500、22万本以上の有価証券およびファンドの格付けなどがある。現在、世界21カ国に総勢6,700名以上のスタッフを擁する。詳細は当社ウェブサイト([www.standardandpoors.co.jp](http://www.standardandpoors.co.jp))まで。

マグロウヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、ビジネスウィーク、マグロウヒル・エデュケーションなどを通じて、金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供する、国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に300カ所以上の拠点を有しており、2004年の売上高は約53億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト([www.mcgraw-hill.com](http://www.mcgraw-hill.com))まで。